

事業所における自己評価結果(公表)

【放課後等デイサービス】

公表:2022年 2月11日

事業所名:児童発達支援・放課後等デイサービス おんぶ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		・活動内容によって空間を仕切ったり開放したりすることで対応している。 ・活動プログラムはスペースを考えて実施。 ・パーテーションを利用して環境調整を行っている。	・体格や動きが大きく、人数の多い日は窮屈になる。 ・密になりやすく感染対策がとりにくい。 ・リフォームを検討している。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			・常勤7名、非常勤3名、基準より多い人員配置で対応している。	・送迎の状況によってはスタッフが足りなくなることがある。 ・次年度から順次、送迎範囲を狭めていく。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			・歩道・玄関・室内全体を車いすでも移動できるようにフラットにしている。	
業務改善	4	業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			・日々の振り返りや活動の内容設定について主担当者を中心にスタッフ全員で行うようにしている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・ホームページに公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		・現在検討中
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・外部研修への参加機会を設けている。 ・週1回、研修動画視聴の時間を設定している。	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・最低6か月に1回はモニタリングを実施。 ・アセスメント会議後、計画を作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・それぞれの児に応じたアセスメントツールを組み合わせ活用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・アセスメント会議実施後、担当者が中心となりプログラムを作成している。	・個別活動としては行えているが、集団活動は個々の支援をもう少し話し合えるように取り組みたい。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・毎回活動内容を変更している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・休暇時は活動時間が長くなるため、平日に出来ない外出等の活動を多く取り入れている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・個別活動、集団活動を行う週を設定し、それぞれの課題に対応している。	
	15	支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・それぞれの役割について、主担当者が中心となり確認を行うようにしている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・翌日に振り返りを行う時間を設けている。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・保護者向けの連絡帳だけでなく、より詳しい内容や対応方法を記録に残し、支援内容の検証・改善につなげている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・最低6か月に1回はモニタリングを実施。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			・計画内にガイドライン項目を記入し、ガイドラインに沿った支援ができるようにしている。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・主に児発管が参加。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			・保護者をとおして適宜確認している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか					
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			・全員就学前から継続利用しているため、在園時の情報あり。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○				・現在対象児がない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			・センター主催の研修会や連絡会に参加している。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○		・今後検討していく。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		○			・現在情報がない。案内があれば参加していきたい
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・送迎時に家庭での様子やニーズについて話を聞いている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			・非常勤心理士によるペアレントプログラム・トレーニングを実施している。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・契約時に掲示書類をもとに説明している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・送迎時、個別面談、電話等様々な方法で相談に対応している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			・年に数回、保護者会を開催。本年度はコロナの影響で回数、参加人数を少なく設定した。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・苦情・相談に対する担当者を決め、契約時に説明している。 ・苦情・相談があった際は、スタッフで情報共有し、迅速に対応できるようにしている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・月1回おんぶだよりを発行している。（HP,紙面）	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	35 個人情報に十分注意しているか	○			・契約時、同意書について説明し、同意をいただき内容に沿って対応している。	
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・必要に応じて視覚支援を活用。	
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○		・今後検討していく。
	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			・全てのマニュアルを策定し、入り口付近に掲示している。	
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・年2回、避難訓練を実施している。	
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・外部研修に参加し、内部で伝達講習を行っている。	
41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			・虐待委員会の設置準備中、やむを得ず拘束する際の記録、報告様式を準備している。		
42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			・契約時にアレルギーの有無について確認、主治医から指示書もらっている。 ・保護者にアレルギーの有無確認を行っている。		
43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・事例についてその都度記録し、内容や対策について情報共有している。		

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)